

病院長名	小寺 泰弘
所在地	〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1
交通案内	名古屋市地下鉄名城線「名古屋城」下車徒歩1分

□ 病院の特徴

当院は開設以来 140 余年の歴史を有し、前身は国立名古屋病院として国民のための医療を提供しつづけております。年間救急搬送台数 7500 台を超える第 3 次救急指定病院、都会型総合病院です。また、当院は、わが国では数少ない臨床研究中核病院に選定されています。病床数は 656 床です。

近隣は名城公園・名古屋城があり、街の中心に位置するにも関わらず喧騒からは離れた恵まれた環境にあります。

□ 研修プログラムの特徴

【名称】

名古屋医療センター眼科専門研修プログラム

【研修目標】

眼科学に精通し、専門性の高い治療に対応できる技術を身につけ、学会発表や論文作成を通じて科学的に思考し、将来的に地域でも活躍できる眼科医を目指します。

【研修期間】

4 年間

【研修スケジュール】

4 年間で 1 年目、もしくは 2 年目を基幹施設である名古屋大学眼科で研修します。名古屋医療センターでは、眼科の希少疾患やがんを含めた難病を経験しながら、白内障等の内眼疾患の手術手技の基本を習得します。

2 年目以降は名古屋医療センター、名古屋大学、もしくは名古屋第一赤十字病院で研修します。

当院では硝子体手術などの内眼手術、涙道、外眼部・眼窩疾患の手術療法を学びます。名古屋大学では臨床と同時に研究に従事する機会が得られます。名古屋第一赤十字病院では小児眼科とともに一般眼科の疾患を経験することができます。できるだけ専攻医の希望に沿ったプログラムを構築しますが、どの研修施設を選んでも最終的に研修到達目標に達することができるようにします。また、専攻医間で格差がつかないような工夫も考慮します。

眼科専門研修を行っているいずれの時期でも、研修中の病院が行政によって担当が定められている災害救護や救急医療には、眼科医として積極的に参加して経験を積みます。



□ 主な連携施設

名古屋大学医学部附属病院

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

メッセージ

指導医（眼科医長 廣瀬 浩士）

眼科専門医 6 名のもと、内眼疾患、外眼疾患の幅広い分野に対応しています。特に涙道、眼形成疾患、眼・眼窩腫瘍等に対する治療では、県内屈指の施設であり、手術件数も上位にランクされています。白内障手術も多く、さまざまな網膜硝子体疾患に対しても可能な限り、先端機器、先端治療を導入し、最良の方法が見つかるよう努力しております。



女性医師も多く、また、時折、海外からの留学医師も交え、国際交流をはかりながら、なごやかに、また、楽しく仕事ができるよう努力しています。



眼科手術室



学会発表

□ 募集要項

・採用予定人数	2 人（名古屋大学眼科と連携）
・給与／月額	403,200 円（基本給）
・当直回数／月	2 回
・当直料／回	20,000 円
・その他	年収 680 万円 ～ 1,000 万円
・応募連絡先	担 当 者（給与係長） 森田 真菜美 電話番号 (052) 951-1111 E メール morita.manami.hj@mail.hosp.go.jp